

授業科目	形態機能学特論 Functional Anatomy			担当教員	熊井 まどか		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
英文図書や科学論文を精読し、細胞や組織の形態や機能に関する理解を深めると共に英文の読解力を養う。							
	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	自主的・積極的に学修に取り組むことができる。			・授業への取り組み		20%	
思考・判断	英文図書や論文を読解できる。			・レポート		20%	
技能・表現	わかりやすいプレゼンテーションができる。			・プレゼンテーション		10%	
	自分の考えを発表できる。			・ディスカッション		10%	
知識・理解	人体の正常構造や関連する機能を説明できる。			・レポート		20%	
				・ディスカッション		20%	
出席						単位取得要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第12～14回終了後に提出するレポートを評価する。</li> <li>・レポート（40%）、ディスカッション（30%）、事前学修の取り組み（20%）、プレゼンテーション（10%）を総合的に評価する。</li> <li>・レポートは個別、または授業内でディスカッションを行い、フィードバックする。</li> </ul>							
授業の概要							
英文図書や科学論文を精読し、細胞や組織を用いた研究手法を理解する。その後、栄養科学の研究を進めていく上で重要な消化器系を中心に構造と機能、疾患、発生について学ぶ。最後に、各自が選択した形態機能学に関連する論文についてプレゼンテーションやディスカッションを行う。							
教科書・参考書							
<p>教科書：必要に応じて、資料を配布する。</p> <p>参考書：適宜紹介する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
学部で修得した知識を整理するとともに更なる向上を目標として、自主的・積極的に学修に取り組んでほしい。							
回	テーマ	授業の内容			予習・復習		
1	細胞1	細胞の構造			<p>事前に配布する英文図書の予習</p> <p>細胞の構造についての復習</p> <p>光学顕微鏡法についての予習</p>		
2	細胞2	光学顕微鏡法			<p>光学顕微鏡法についての復習</p> <p>事前に配布する英文図書の予習</p> <p>電子顕微鏡法についての予習</p>		

4	細胞 4	細胞の分画	細胞分画法についての復習 事前に配布する英文図書の予習 細胞培養法についての予習
5	細胞 5	細胞の分離・培養	細胞培養法についての復習 事前に配布する英文図書の予習 消化管についての予習
6	消化器系 1	消化管の構造と機能	消化管についての復習 事前に配布する英文図書の予習 肝臓・膵臓についての予習
7	消化器系 2	肝臓・膵臓の構造と機能	肝臓・膵臓についての復習 事前に配布する英文図書の予習 消化器系の疾患についての予習
8	消化器系 3	消化器系の疾患	消化器系の疾患についての復習 事前に配布する英文図書の予習 心臓の発生についての予習
9	心臓の発生	心臓の発生	心臓の発生についての復習 事前に配布する英文図書の予習 消化器系の発生についての予習
10	消化器系の発生	消化器系の発生	消化器系の発生についての復習 事前に配布する英文図書の予習 泌尿器・生殖器系の発生についての予習
11	泌尿器・生殖器系の発生	泌尿器・生殖器系の発生	泌尿器・生殖器系の発生についての復習 論文の選択 プレゼンテーション用資料の準備
12	論文紹介	論文抄読・ディスカッション	論文の選択 プレゼンテーション用資料の準備 レポート作成
13	論文紹介	論文抄読・ディスカッション	論文の選択 プレゼンテーション用資料の準備 レポート作成
14	論文紹介	論文抄読・ディスカッション	レポート作成
15	総括		